

組織方針は新執行部に一任!

勤労千葉のすべての組合員のみなさん、
とりわけ佐倉支部のみなさん!

十一月十六日、十四時より、佐倉柵園区講習室において一九七九年度佐倉支部定期大会が開催され、佐倉支部の方向性をめぐって、参加した代議員による白熱した討論が展開されました。

その結果、組織方針は新執行部に一任するとの大会決定を確認し、堀口太一支部長を先頭とした新執行部を選出し大会は終了しました。

組織問題で集中論議

大会は、代議員総数37名中34名の出席をもって成立したことを確認し、大会議長に岩井英夫代議員を選出して進められました。

山下支部長あいさつの後に土屋書記長から、一般経過報告・会計報告がなされ、小川会計監査員より会計監査報告を受けて承認され議事に入りました。

つづいて大会延期承認・78年度決算の承認がなされた後に、議事進行の意見が出されました。その意見の主旨は、「佐倉支部がどの組合に入るのかはっきりさせた上でなければ運動方針は決められない。従って組織問題を先行審議しどちらに入るのかを決めるべきだ。」というものでありました。

執行部答弁は、「組織問題については、運動方針とは資料を別冊にして後ほど提起する」との答弁がされたが、最終的に休憩をもって執行委員会を開催し、議事進行の意見をつけ入れ、組織問題を先行審議することになりました。

その後、土屋書記長から「組織問題について」と題する別冊資料が提起され、白熱した討論が展開され、「今大会で方向性を出すべきだ。」

「勤労千葉と共に進むべきだ。」
等々の意見が出されました。

特徴的なことは、勤労「本部」につくべきだという意見は一言もなかったことです。

様々の意見が出される中で、大会は10分間の休憩をはさみ、執行部答弁として、「本日提起した組織問題についての別冊資料は撤回する。配布した運動方針及び予算案も撤回し、佐倉支部の方向性は新執行部に一任する。」

との執行部答弁が出され、それを全体で確認し、一九七九年度支部役員選出に入り、堀口支部長をはじめとする新執行体制を確立して大会は終了しました。

一九七九年度

佐倉支部執行部

- 執行委員長 堀口太一(柵園土)
 - 副 平川和彦(〃)
 - 書記長 和田義明(検査係)
 - 執行委員 平山光夫(柵園土)
 - 福田芳郎(〃)
 - 宮内正志(〃)
 - 小川鼎之輔(検査係)
 - 能勢明彦(〃)
 - 吉原利和(検査係)
 - 大根洋一(〃)
 - 岩井登志男(柵園土)
 - 石橋和定(事務掛)
- 以上、